

第9回

Interactive Communication Meeting (ICM) for CDE<web型研修>



HIROTA YUSHI

『医療DX』



HAYASHI ISAO

2025年 10月16日 (木)
20:00~21:40

共催：Interactive Communication Meeting (ICM) for CDE/住友ファーマ株式会社

後援：糖尿病療養指導士兵庫県連合会

 SMP-Approved

視聴申込 & 事前アンケート

≪締め切り 10月15日(水)≫

- 下記の **URL** または **2次元コード** にアクセスいただくと画面が開きます。
 - 登録フォームより必要事項をご入力後、**登録ボタン** を押してください。
 - 登録が完了しましたら数分後に事務局からメールをお届けします。
メール内の「**視聴URL**」にアクセス後、視聴画面となります。
- *リマインドさせていただく場合がございますが、その場合も同様のメールが届きます。

【2次元コード・URL】



https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_JSJHPJTES1aVINnsyZdmDQ

【Opening Remarks】

林 功 先生

林医院 院長

【Lecture Session】 20:00～20:40

座長

橋本 尚子 先生

兵庫県立はりま姫路総合医療センター
糖尿病・内分泌内科 部長

1. 医療におけるPHR活用の意義と問題点

演者

戸崎 貴博 先生

糖尿病・内分泌内科クリニックTOSAKI
院長

《Abstract》

PHRは個人の健康・医療情報で、近年はクラウド上で管理されることが増えている。オンライン診療と連携することで利便性が向上し、今後の活用と課題が注目される。

2. 地域医療の切れ目を埋める

—遠隔診療による糖尿病支援体制の構築—

演者

白神 敦久 先生

徳島県立中央病院
糖尿病・代謝内科 部長

《Abstract》

徳島県では医師偏在と交通困難を背景に、5Gと高精細映像を活用した遠隔糖尿病診療を導入。患者満足度も高く、他科にも展開中で、過疎地医療の有効な補完手段として今後も期待されている。

【Special Lecture Session】 20:40～21:20

座長

廣田 勇士 先生

神戸大学大学院医学研究科
糖尿病・内分泌内科学部門 准教授

糖尿病診療でどこまで医療DXが可能か ～糖尿病治療における行動変容とDTx～

演者

脇 嘉代 先生

東京大学大学院医学系研究科
公共健康医学専攻 臨床情報工学分野
教授

《Abstract》

糖尿病診療において、デジタル技術は行動変容の支援と治療の個別化に大きな可能性を持つ。本講演では、スマートフォンアプリを活用した2型糖尿病患者さんの生活習慣に関連した行動への介入結果、ならびにデジタルセラピューティクス（DTx）の現状と課題を紹介し、医療DXが糖尿病治療にもたらす未来像を展望する。

【Talk Session】 21:20～21:40

『医療DXで変わる未来』

事前アンケート、当日のQ & Aにて頂いたご質問をもとに、
糖尿病診療と医療DXについて深掘りしていきます。

ファシリテーター

廣田 勇士 先生

神戸大学大学院医学研究科
糖尿病・内分泌内科学部門 准教授

林 功 先生

林医院 院長

【Closing Remarks】

廣田 勇士 先生

神戸大学大学院医学研究科
糖尿病・内分泌内科学部門 准教授

「CDEJ」（日本糖尿病療養指導士）

認定更新のための研修会として CDEJ<第2群>0.5単位 認定

下記条件を満たす方に、受講参加証を郵送致します。

- ✓事前申し込みフォームにて、参加証を希望された方
- ✓研修開始時・終了時・および研修途中1回以上の計3回以上、それぞれが異なる「キーワード」を提示し、開催日中にすべてのキーワードを正しく提出された方
- ✓会当日までに下記の事務局まで郵送費として『84円切手』を送付頂いた方
※当日不参加の場合の切手のご返送は致しかねますのでご了承ください。

《事務局》

〒658-0015 神戸市東灘区本山南町8-6-26 東神戸センタービル12F

担当者：住友ファーマ（株） 池田武蔵

E-mail : takezo.ikeda@sumitomo-pharma.co.jp

「糖尿病療養指導士兵庫県連合会」

認定更新のための研修会として 2単位 認定

下記条件を満たす方に、受講参加証のPDFをメールにてお送り致します。

- ✓講演会中に提示する、すべてのキーワードを、開催日中に正しく提出された方

ご入力いただく「個人情報」は本会運営の目的のみに使用させていただきます。